

地域	東京都文京区	認定日	平成22年2月22日	3-21-166
事業分類	製造(電気・情報機器)	テーマ分類	次世代(情報家電)	

事業名:耐タンパー性USBメモリ自動デュプリケータの開発事業化

○事業概要(新規性、市場性等)

- ・新しいメディアであるUSBメモリが急速に普及してきており、パソコンソフト、音楽、映画等は長く続いた光ディスクを代表するCD、DVDからUSBメモリへの移行が進んでいる。例えば国内のパソコンユーザだけでも4,230万人の人がUSBメモリを所有していると言われている。
- ・一方そのコンテンツ複製の作業現場ではUSBメモリの自動デュプリケータがない為手作業で行なわれており、更にユニークな管理番号もパソコンによる手入力で行なわれている。
- ・本事業のデュプリケータはUSBメモリが持っているUSB情報データの自動管理が可能で、かつ耐タンパー性のUSBメモリのデュプリケータを提供するものである。
- ・さらに独自の挿入機構により自動セットできると共に、デュプリケータの独自のソケット機構及び自動搬送機構や自動良否分別機構等を導入して大幅な信頼性向上及び自動化を図るものである。

* 耐タンパー性:非正規な手段による機密データの読み取りを防ぐ能力。

* デュプリケータ:光ディスクやUSBメモリなどのデータを複製する装置。

事業推進体制

試作・製造支援

A社
B社
C社
D社

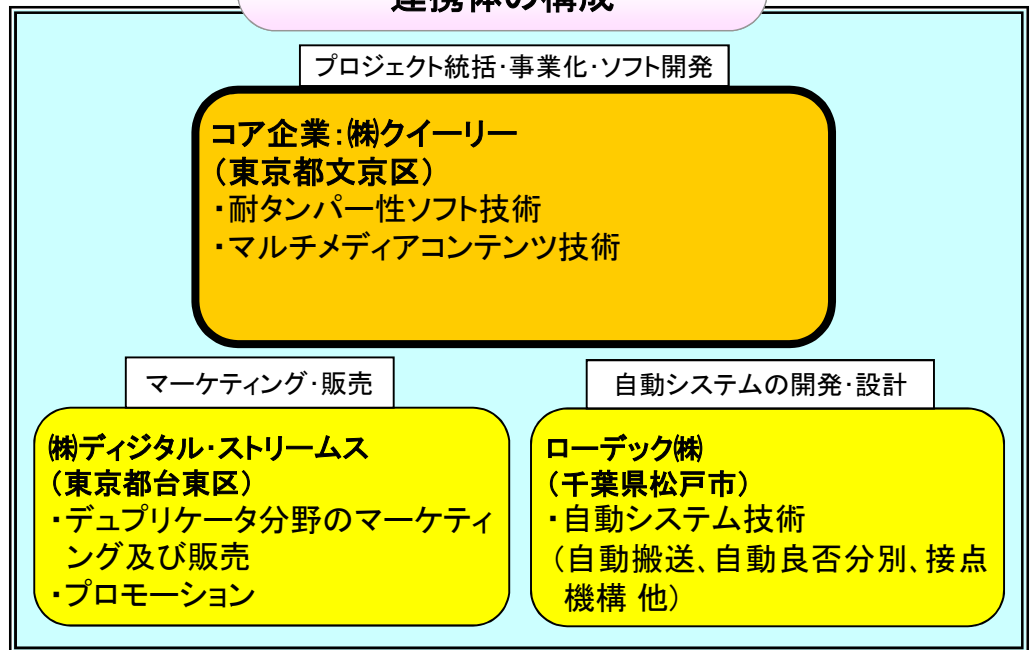
金融支援

三菱東京UFJ銀行

支援予定メニュー

- ①補助金
- ②特許料減免

連携体の構成



従来のUSBメモリ手動デュプリケータ



今回開発のUSBメモリ自動デュプリケータ